

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 20日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
〒529-1156 滋賀県彦根市清崎町60

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
株式会社DNP高機能マテリアル彦根  
取締役工場長 宇田川 浩一

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社DNP高機能マテリアル彦根 取締役社長 菊川 暁
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県彦根市清崎町60

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社DNP高機能マテリアル彦根						
事業所の所在地	滋賀県彦根市清崎町60						
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	5	1	3	※ 産業分類・細分類名称を記載	
事業の概要	食品包材、アルミ容器、アルミラミネートフィルム電子材料の生産						
従業員の数	196	人	作業時間	24	時間/日		
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	2	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	6	台	空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2024	年度	報告対象年度	2026	年度
	終了年度	2026	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

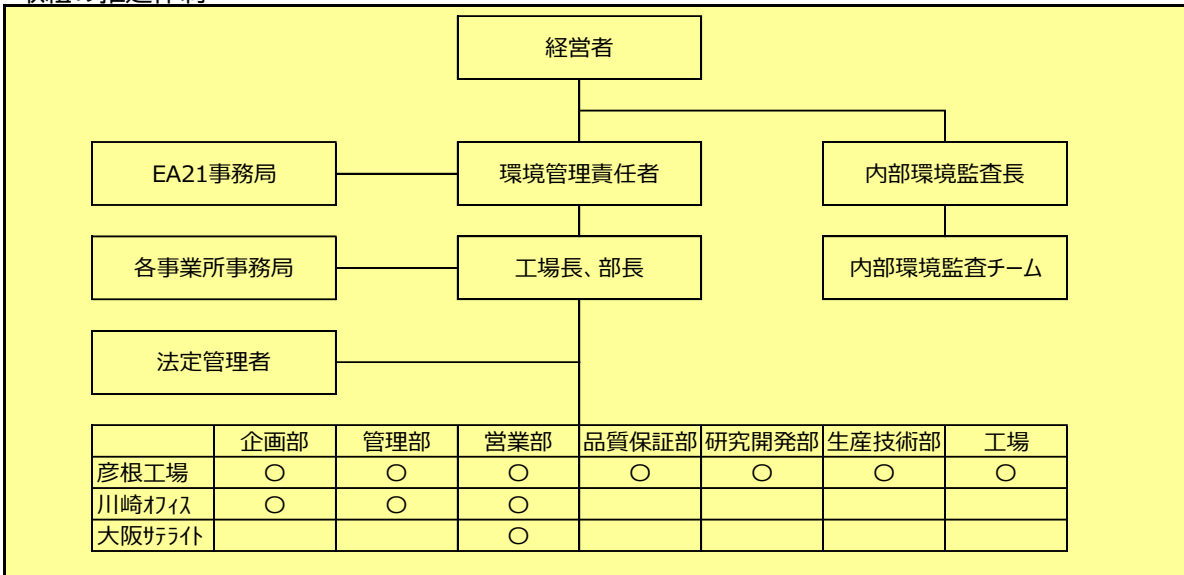
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

《基本理念》  
 株式会社DNP高機能マテリアル彦根は、「アルミニウム加工箔及びラミネート樹脂フィルムを用いた製品設計開発、製造及び販売」を通して、豊かな未来づくりに貢献すると共に、地球環境の保全が重要架台の一つであることを認識し、環境経営の継続的改善に努めます。

《基本理念》  
 (1)設計開発、製造、製品及びサービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境目標を定め環境負荷低減に努めます。  
 (2)事業活動に係わる環境関連法規・条例等を遵守します。  
 (3)事業活動において  
 ①エネルギー使用の効率により、二酸化炭素の排出量抑制に努めます。  
 ②廃棄物(プラスチックを含む)の排出量抑制、有効利用に努めます。  
 ③水使用の適正管理に努めます。  
 ④化学物質の適正管理に努めます。  
 ⑤環境にやさしい製品(電池の高性能化・軽量化・小型化対応包材)の生産・販売及びサービスの改善に努めます。  
 (4)社会や地域における環境保全活動に協力していきます。  
 ①食品容器向けとして、環境に配慮したプラスチックからリサイクル可能なアルミ樹脂複合容器などの製品生産・販売およびサービスを提供します。  
 ②工場周辺、近隣区域のクリーン活動に積極的に参加します。  
 (5)社員に必要な教育を行い、SDGs、環境経営に対してなすべき行動がとれる人材を育成します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- 省エネ機器の採用
  - 工場照明器具:400W水銀灯器具撤去=72灯 → LED器具へ交換  
 蛍光灯器具=70% → LED器具へ交換
  - コンプレッサー:6台 → インバータ制御仕様へ更新  
 1工場台数制御(3台)
- 3R推進
  - 廃棄物の分別、再資源化の推進
- その他
  - 不要照明撤去及び不要時の消灯
  - 全従業員への環境教育実施

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	LED照明器具化	2024～2026年	計画的なLED化推進
2	設備導入	省エネ機器の導入・更新(空調機効率フロン切替)	2024～2026年	空調PAC2台更新
3	運用改善	特定生産品目の生産性改善	2024～2026年	生産性改善実施
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
次の数値目標達成を目指す。 原単位年平均 1%以上削減 原単位=エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量[t-CO <sub>2</sub> ]/生産量[百万m <sup>3</sup> ]	原単位=対前年比10%増  前年度生産量 161.9[百万m <sup>3</sup> ] 24年度生産量 163.3[百万m <sup>3</sup> ] 生産量はほぼ前年度並み  原油換算エネルギー使用量は8%削減できているものの排出係数増加の影響が大きく目標未達。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2024)年度	(2025)年度	(2026)年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	5,524	4,723			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	8,081	8,730			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	8,081	8,730			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0			
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
エネルギー等原単位の推移		49.914	54.905			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						